

外郭団体評価調書【株式会社用】

1. 基本情報

令和7年7月1日 現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目11番7号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役 大倉 雄 二	電話番号	025-386-1212
	株式会社 大倉屋 代表取締役	ホームページ	http://www.toyosaka-tmo.com
市所管課	北区役所 産業振興課	電子メール	tmo@icss.jp
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7月30日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)	16,650 千円	50.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	事業者や市民、新潟市などの出資による第三セクター特定会社による事業推進により、中心市街地及びまちづくりの活性化を図る。		
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて、地域の賑わいと安らぎをもたらす会社をめざす ・環境を大切にし、地域の暮らしに貢献する企業をめざす ・社会的信頼・信用の高い企業をめざす		

2. 主要事業

事業名①	市街地活性化事業							
事業概要	(概要) 地域商業賑わい創生プロジェクトの企画・運営 (うまいもん市場、コミュニティスペース活用事業、婚活事業、 空き店舗空き家活用事業)							
	〈市政へどのように寄与・貢献するのか〉 ・北区 区ビジョンまちづくり計画に位置付けられている「活力ある産業のまち」～魅力ある産業の振興」に向け、まちづくり会社として具体的な事業展開を図っている。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
-	-	支出額	千円	予算	2,200	1,112	1,000	606
				決算	1,050	1,097	1,023	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
婚活事業の参加者数 ※R5年度から商工会青年部とコラボ事業として実施。	R7	人	20	-	-			
	R6	人	20	23	今年度は、応募者数20として限定したがはるかに上回る応募があった。			
	R5	人		20	コロナの関係から大規模な実施はできなかったが、今回は、商工会と協力し実施した。			
	R4	人	80	0	参加者の減少から中止し、未達成である。			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
うまいもん市場の出店数	R7	店		-	-			
	R6	店	25	18	登録店舗は50店舗であるが、開催日によって出店数が異なる。平均で18店舗であった。			
	R5	店	25	25	登録店舗は、40店である。			
	R4	店	20	25	昨年の試行以降出店者も定着し、区外からも出店の要望があるなど目的数値は達成した。			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
コミュニティスペース活用事業参加者数 ※R6年度事業変更により指標を変更	R7	人	60	-	-			
	R6	人		49	今年度より事業内容を変更したことにより計画数がなく次年度からの指標となる。			
	R5	人	550	705	令和2年からの3か年事業のため事業を廃止する。 →北区観光協会の事業として実施			
	R4	人	500	833	地域の特産物や販売店などをInstagram、フェイスブックに投稿し、情報の発信を行った結果、目的は達			
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	うまいもん市場は引き続き月2回程度開催し（土曜・日曜の市場開催日）認知度も向上してきており、持続可能なイベントになりつつある。これまで市場への来場が少なかったファミリー等若年層が増える等、区ビジョンに沿った交流人口拡大を図った。葛塚市活性化プロジェクトの事務局として、企画・当日運営等に参画し、うまいもん市場運営のサポートに努めてほしい。 また、婚活イベントはR6年度募集人数を上回る応募があった。関係者と協議し、さらに市街地活性化へ効果のある事業展開を期待したい。							

2. 主要事業

事業名②	収益事業							
事業概要	(概要) ①「ヤマザキショップ豊栄駅前店」の運営 ②「豊栄駅前時間貸し駐車場」の運営 ③「道の駅豊栄」の運営 (市政へどのように寄与・貢献するのか) ・「道の駅豊栄」を運営し、国道でのオアシス的役割を担うとともに、区内の特産品の販売を行う。また、この収益をもって民間での運営が難しい豊栄駅構内のショップ運営や駐車場管理を行い、区民及び来訪者への利便性向上を図っている。							
	事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和4年度	令和5年度	令和6年度
-	-	収入額	千円	予算	94,500	103,040	102,700	113,700
				決算	99,746	105,949	114,445	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
ヤマザキショップ豊栄駅前店の売上増加	R7	千円	19,000	-	-			
	R6	千円	19,000	19,475	目標の額は、達したものの物価の高騰により収益増には至っていない。			
	R5	千円	17,800	19,743	目標の売上高には、達したものの物価の高騰により収益増には至っていない。			
	R4	千円	18,000	17,794	コロナの影響によるJR豊栄駅の乗降客が減少も落ち着き始めたが、まだ尾を引いている状況から、未達成となった。			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
豊栄駅前時間貸し駐車場の売上増加	R7	千円	3,200	-	-			
	R6	千円	2,900	3,482	目標額は、達成した。長時間の利用より短時間の利用が増加したことによる。			
	R5	千円	2,840	3,008	目標計画値は達成した。今後、新紙幣やインボイスの対応のため機器の入替が必要となる。			
	R4	千円	2,500	2,843	コロナの影響も落ち着き始めたことから利用者が徐々に、回復しつつあることから達成することができた。			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
「道の駅豊栄」の売上増加	R7	千円	91,500	-	-			
	R6	千円	80,800	91,487	目標額は、達成した。物価高騰により売上額は増額したものの仕入額も上がったことにより、思った収益は増えていない。			
	R5	千円	82,400	83,198	目標額は、達成した。売上は増額したものの仕入単価が上がったことにより、思った収益は増えていない。			
	R4	千円	74,000	79,109	コロナの影響も落ち着き始めたことから車利用者も徐々に回復しつつあることから達成することができた。			
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価		各項目の売上目標を達成し、収益事業を黒字化することができた。 不採算事業の再構築を検討・実行しながら、安定した収益が得られる経営体制への向上に取り組んでほしい。						

2. 主要事業

事業名③	まつり・イベント支援事業						
事業概要	(概要) ①豊栄大民謡ながしの支援 ②葛塚まつり ③福島潟駅伝競走大会 ④その他イベントの開催・運営・支援等 その他、北区観光協会の委託事業として、福島潟菜の花まつり、うまいもん夜市、あったかマルシェなど事業の開催やJRA豊栄特別の協賛それに、ござれや花火、キテミテ北区、豊栄大民謡流しなど、実行委員会の一員として活動している。						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) イベントの開催・運営等の支援を行うことで、賑わい創出、観光誘客などの交流人口拡大が図られる。 ・北区観光協会から委託を受け、事業を同観光協会と一体となって展開している。						
事業区分	収支区分	単位	予算・決算	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
-	-	支出額	千円	0	30	35	140
				0	35	140	
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
豊栄大民謡ながし 葛塚まつり 福島潟駅伝競走大会、その他観光協会の委託事業の支援実施	R7	回	4	-	-		
	R6	回	3	4	予定したイベントは、実施され多くの人で賑わった。		
	R5	回	-	3	コロナ禍が落ち着き、各イベントが再開された。		
	R4	回	3	1	コロナ禍により、福島潟自然文化祭は開催されるも、かなり小規模開催となる。他は実施されず未達成である。		
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	イベントを多数開催し、区ビジョンに沿った交流人口拡大を図った。 今後も、区ビジョンに合わせたまちづくりへ、積極的かつ主体的に参画し、まちづくり会社、また、観光協会事務局として、市街地活性化、交流人口拡大等に向けた取り組みに期待したい。						

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

令和7年7月1日 現在 (単位:人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
役員数	8	8	9	9
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	8	8	9	9
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任	8	8	9	9
その他				
職員数	22	22	22	22
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB		1	1	1
プロパー職員	1			
他団体からの派遣				
非常勤	21	21	21	21
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	21	21	21	21
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

令和7年7月1日 現在 (単位:人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	21	21	21	21
	合計	22	22	22	22
年齢構成	20代以下				
	30代				
	40代	5	1	1	1
	50代	8	9	9	9
	60代以上	9	12	12	12
	合計	22	22	22	22

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(予算)
報酬・給与等	21,887	22,712	22,588	22,683
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	21,887	22,712	22,588	22,683
常勤	2,211	2,160	2,160	2,160
内 市職員分				
非常勤	19,676	20,552	20,428	20,523
内 市職員分				
平均年収(市職員を除く。)				
常勤役員				
常勤職員	2,211	2,160	2,160	2,160
見直し等の取り組み				

(4) 給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	102,497	115,674	120,482
		営業費用	103,640	110,159	113,730
		売上原価	62,333	66,406	69,580
		事業費			
		販売費・一般管理費	41,307	43,753	44,150
	営業損益	▲ 1,143	5,515	6,752	
	営業外損益	営業外収益	171	245	1,163
		営業外費用			
		営業外損益	171	245	1,163
	経常損益		▲ 972	5,760	7,915
損特別	特別利益				
	特別損失				
	特別損益	0	0	0	
税引前当期損益		▲ 972	5,760	7,915	
法人税、住民税及び事業税		180	180		
当期損益		▲ 1,152	5,580	7,915	
前期繰越損益					
当期末処分損益		▲ 1,152	5,580	7,915	
処利分益	利益処分額				
	次期繰越損益				

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	21,887	22,712	22,588
役員分			
職員分	21,887	22,712	22,588

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
資産の部	資産の部合計	57,406	63,023	69,418
	流動資産	44,523	51,110	56,718
	現金預金	37,286	42,841	47,771
	受取手形			
	未収金	2,007	2,224	2,131
	有価証券			
	その他流動資産	5,230	6,045	6,816
	固定資産	12,883	11,913	12,700
	有形固定資産	10,474	9,614	10,510
	無形固定資産	431	321	212
	その他投資等	1,978	1,978	1,978
繰延資産				
負債の部	負債の部合計	10,849	10,886	11,502
	流動負債	7,021	7,058	7,674
	短期借入金			
	その他流動負債	7,021	7,058	7,674
	固定負債	3,828	3,828	3,828
	長期借入金			
その他固定負債	3,828	3,828	3,828	
純資産の部	純資産の部合計	46,557	52,137	57,916
	資本金	33,300	33,300	33,300
	法定準備金			
	剰余金	13,257	18,837	24,616
	うち当期未処分損益 (当期損益)	13,257	18,837	24,616
負債の部及び純資産の部合計		57,406	63,023	69,418

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市財政支出等の合計	110	2,222	3,300
補助金	0	0	0
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	110	2,222	3,300
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）			
業務委託（随意契約）	110	2,222	3,300
業務委託（その他）			
貸付金（期中借入額）			
出資・出捐金（追加額）			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
その他財政援助の状況 （税や使用料の減免、建物の無償貸与等）			

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

北区葛塚エリア賑わい創出事業委託: 地域経済の停滞などの課題解決するため、産学官による取組みを推進し、街なかの活性化を図る。

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常損益		▲ 972 千円	5,760 千円	7,915 千円
当期損益		▲ 1,152 千円	5,580 千円	7,915 千円
自己資本比率	純資産	81.1 %	82.7 %	83.4 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	634.1 %	724.1 %	739.1 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	25.6 %	21.3 %	20.6 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）		13,257 千円	18,837 千円	24,616 千円
資金運用		●	有	<ul style="list-style-type: none"> ① 運用方針を明文化し、それによって運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。
（基本財産としての 有価証券の保有）				

（2）団体の自立性

指標		令和4年度	令和5年度	令和6年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	0.1 %	1.9 %	2.7 %
	経常収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

(3) 経営の効率性

指標		令和4年度	令和5年度	令和6年度
総資本経常利益率	経常利益	▲ 1.7 %	9.1 %	11.4 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	▲ 0.9 %	5.0 %	6.6 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.8	1.8	1.7
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	4,659 千円	5,258 千円	5,476 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	▲ 44 千円	262 千円	360 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	40.3 %	37.8 %	36.6 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	41,307 千円	#DIV/0! 千円	44,150 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	21.4 %	19.6 %	18.7 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
	無 計画名称 () 計画期間 ~ 年度
概要・数値目標	
●	無 未策定理由 (エネルギー資源や物価の高騰など社会情勢が不透明なことから方向性が見いだすことができなかつた)

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度~ 依頼先職種 ()	●	有 依頼時期 平成15年度~ 依頼先職種 (風間良光税理士事務所)
●	無		無

③ 事務処理改善の取組み	
●	有 取組内容 平成22年度~ (株式会社まちづくり豊栄事務専決規程)
	無

④ 人材育成の取組み	
有	取組内容 年度~
●	無

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況				
有	策定時期 平成 年度~ 規定名称 ()	団体ホームページ掲載	●	定款等 平成22年度~
			●	事業内容 平成19年度~
			●	役員名簿 平成19年度~
				役員報酬 年度~
●	無 未整備理由 (必要性は認識しつつも策定に至っていない。)		●	事業報告 平成19年度~
			●	損益計算書 平成29年度~
			●	貸借対照表 平成29年度~
			●	事業計画書 平成19年度~
		●	予算概要 平成22年度~	

改善対応区分
A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
B: 改善の取組の効果が始めている
C: 改善の取組に着手
D: 改善の取組に向けて検討中
E: 今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		「まちづくり会社」としての団体のあり方を明確にし、外部環境の変化に対応した団体独自のアクションプラン（新5か年計画）の見直し・修正が必要である。				
改善に向けた取組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	アクションプラン作成のための検討、協議を行ったが、社会情勢の不透明さから方向性が見いだせなかった。				
	取り組みによる成果	検討協議は行ったが、成果はまだ出ていない。				
	改善・対応区分	A	B	C	D	● E
	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	計画	新経営方針の実施	新経営方針の策定	新経営方針の策定	新経営方針の実施	
	実績	未実施	未実施	策定		
進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 6年度作成を目標に検討協議を行ってきたが、先行き不透明な社会情勢のため、市民ニーズの把握が難しく方向性が見出されず実施できなかった。					
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 経営方針の策定をするための市民ニーズや社会情勢の変化から情報収集が難しい。					
課題への対応	【今後の課題への対応】 各種団体や株主（市民）等からの意見・要望などを聴取する。					

改善指示事項		道の駅について、ハード面の改修に合わせた企画・イベントを実施するなど、集客および収益向上に向けた相乗効果を発揮できる施策を検討するべきである。					
改善のために取り組んだ内容		道の駅全体が老朽化しており、当社部分だけの改修を行うより全体の改修を国道事務所と話し合いを行っているが、今後のビジョンや費用面からも簡単にはいかない状況である。また、集客、収益の向上のためのイベントの開催を協議したが、集客スペースや駐車場の確保も難しく実施出来なかった。					
取り組みによる成果		ハード面においては、現在国交省（新潟国道事務所）と協議中である。集客、収益向上においては、占用許可やスペース的にもイベント等の開催は難しく実施できなかった。					
改善・対応区分		A	B	C	D ●	E	
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	営業面積の拡大	計画	イベントの発展	イベントの企画・実施	イベントの企画・実施		
		実績	中止	未実施	実施		
		進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 国土交通省へは、イベントの開催や営業面積の拡大について再三再四活用を依頼しているが、道の駅を道路として認定していることから、年間を通じて占有許可を得ることができない状況である。現在も交渉中である。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 新潟国道事務所の理解と協力が必要である。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 新潟国道事務所から占有許可が得られるよう、利用者の利便性や必要性など、根気よく継続して交渉を行う。				
	営業利率向上、 客単価向上	計画	管理体制の策定	営業利率の維持	営業利率の維持		
		実績	営業利率の変更実施	維持継続	維持継続		
		進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 円安等による物価高騰により仕入額も膨らむ一方で、前年度より売上が上がっても収益としては減少している実態がある。そんな中でも、最低限前年度を維持することを目的に、来客者のニーズに合わせた販売品の見直しなど様々な工夫を行う企業努力をしている。				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 円安や物価高騰により仕入額の高騰や最低賃金の改定など経費の増が多く、企業としての節減にも限界があり非常に難しい状況である。				
	課題への対応	物価の高騰や賃金の上昇は止めることはできない。 経費の節減や接客対応など、様々な観点から見直しを行い誘客や購買力の向上を図るために企業努力を重ねるほかにはない。					

改善指示事項		赤字であるヤマザキショップ事業について、黒字転換できる方策を検討しつつ、事業のあり方、位置づけを整理する必要がある。					
改善に向けた取り組み	改善のために取り組んだ内容	売上増を図るため、商品の変更や経費節減など様々な企業努力を行ってきた。また、JRと交渉し賃貸料の減額も行ったが、一向に結果が見いだせない状況である。現在も事業撤退について協議中である。					
	取り組みによる成果	コロナ禍以降これまで、赤字幅は減少するも黒字への転換には至っていない。					
	改善・対応区分	A	B	C	●	E	
	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	赤字の圧縮 前年比50%	計画	提携社分析	継続・他社変更・撤退	継続・他社変更・撤退		
		実績	実施	継続	他社変更・撤退		
進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 商品の変更や購買意欲を上げるために陳列棚の見直しなどを行いました、賃貸料の減額など経費の節減など行ってきたが、目標値には達していない。						
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 現状では、黒字への転換は困難である。営業を継続することも負担も大きい。撤退か継続かを様々な視点から協議が必要である。						
課題への対応	【今後の課題への対応】 地域貢献の名の下で市から依頼を受け運営してきた事業である。撤退するにしても職員の雇用や撤退時の工事等の費用など様々な問題があり、職員をはじめ関係機関との交渉で解決しなければならない。						

改善指示事項		道の駅の運営管理事業者として、今後の法人のあり方や運営手法などについて市と協議する必要がある。					
改善に向けた取り組み	改善のために取り組んだ内容	新潟市とは、幾度か話し合いを持ったが、株式会社ということから支援は難しく協議は行っていない。					
	取り組みによる成果	成果なし					
	改善・対応区分	A	B	C	D	E ●	
	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	市との連携強化と利益体質への 具体策の実施	計画	連携事業の実施	連携事業の計画			
		実績	未実施	未実施			
進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 コロナ禍が落ち着き、少しずつ回復傾向にある状態である。よって、これまで支出を最小限に抑えることが精一杯で、取り組んでいない。						
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 道の駅は、築36年を経過し老朽化が進み大規模な改修が必要となってる。現在の道の駅は、スペース的にも利便性にも不足している状況から全体的な拡大やバイパス以外からも往来できるような整備を国道事務所と協議している。しかし、大幅な改修になるため、国・県・市と連携して継続的に進める必要がある。						
課題への対応	【今後の課題への対応】 改修を行ううえで、道路利用者だけではなく地域の人達の憩いの場、遊び場それに防災を加えた施設の建設を実現するには、国、県特に市をも含めた一体となった事業展開をする必要があることから、はじめの話し合いの場を考える。						

改善指示事項		防災道の駅化について、関係機関と協議を行い、それぞれの役割や権利義務について改めて整理すべき。その上で実現に向けて動くのであれば、その工程などを中期計画に盛り込むべき。				
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	道の駅の主管である国道事務所と協議を行い、取り組み方法を検討した。所在地である新潟市との話し合いを持つ方向で進んだ。				
	取り組みによる成果	国道事務所との話し合いで方向性は出たが次のステップまでは到達していない。				
	改善・対応区分	B	C	●	D	E
	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	国、県、市の計画の理解と方向性の確立	計画	現状分析	関係機関との協議と方向性の検討	関係機関との協議と方向性の確立	計画の策定
実績			実施			
進捗状況		【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 国道事務所との協議により方向性と方法を決定し、他の関係機関との話し合いの場を模索中である。				
今後の課題		【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 関係機関がどのように考えているかが問題である。皆同じ方向を向いて話合えるかが問題である。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 まずは、関係機関へ必要性を理解してもらうことが必要である。				

改善対応区分
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
 B:改善の取組の効果が始まっている
 C:改善の取組に着手
 D:改善の取組に向けて検討中

(2) 【その他改善を要する事項】の改善状況

今後改善を要する事項		道の駅豊栄の清掃委託費の負担軽減について					
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	当社が譲渡を受けた建物と国交省の管理分との線引きを行い、それに係る費用も概算も既に渡し交渉を行っている。それに伴う駅長の賃金や管理のための協定書の見直しなども依頼している。					
	取り組みによる成果	新潟国道事務所長はじめ担当者には説明しているが、回答はでていない。					
	改善・対応区分	A	B	C	●	D	E
	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	計画	国交省との協議	清掃費負担減	清掃費負担減			
	実績	実施	実施				
進捗状況	【令和6年度までの達成状況及び今後の見込み】 現状を理解してもらうため、再三理解と協力をお願いしている。						
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 国の理解と予算化が必要である。						
課題への対応	【今後の課題への対応】 今後も引き続き理解と協力をを求めていくほかない。						

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	<p>コロナ禍落ち着いた矢先、円安に始まりエネルギー資源、物価の高騰など先行き不透明な社会情勢である。当社の経営基盤は、依然として脆弱なものである。経費の節減や増収に努めてきた。道の駅が主の財源をどう活用するか、再度検討を重ねていく。今後の大規模改修も方向性が見えてきているが、関係機関との話し合いの結果如何では、再度協議が必要となる。また、Yショップ豊栄駅店の運営の改善が見込めなければ、撤退・閉店もやむを得ない手段だと考えている。ここ数年の赤字決算から黒字に転じており、今後更に安定した基盤が確保できるようにしたい。</p>
団体の自立性	<p>新潟市から資本が入っていることから完全な自立は無理である。当社の収益の殆どが道の駅であり、道の駅を継続的に管理運営するには、第三セクターという肩書がどうしても必要であり現状での自立は困難である。</p>
経営の効率性・適正性	<p>経営の効率性を図るため、その都度経費の節減や改善など行ってきた。現時点ではこれ以上考えられない。</p>
その他	<p>経営基盤と言える道の駅の大規模なこ入れを少しずつであるが進めている。このこ入れを推進するには、当社と国交省だけではなく県、市それに関係機関などの連携が必要である。</p>

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価指標	実施事項	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
課題への対応	【今後の課題への対応】				

【団体による総括的な評価】

<p>コロナ禍も過ぎ、経営状況も改善の方向に向かっている。しかしながら、円高、物価の高騰など社会情勢が不安定なため、当社のような小規模経営者としては、確固たる経営基盤が必要である。このため、大きな収入源である道の駅の改修を今後もっと加速する必要がある。また、Yショップ豊栄駅店の運営判断など様々な問題を解決しなければならない。今後も厳しい社会情勢の中、これまでの事業を継続するとともに現状維持若しくは今以上の安定化を図っていきたい。</p>
--

【所管課による評価】

<p>新たなイベントを開催する等、交流人口拡大への取り組みを進めた。 営業収益（売上高）は改善し、収益事業を黒字化することができた。 不採算事業の再構築を検討・実行しながら、安定した収益が得られる経営体制への向上に取り組むべきである。 設立目的であるまちづくりを進めていくためには、不採算事業の再構築を図る中で、事務局の人員体制の強化が必要と思われるので、検討すべきである。 また令和3年度より策定が必要なアクションプランが未策定である。早急に策定の目途をつけ、区ビジョンに合わせたまちづくりへ積極的かつ主体的に参画し、当団体の設立目的に見合った活動を進められる体制を整え、地域の牽引役となることを期待する。</p>
--